

元気です！— 会員企業ご紹介 —

独自の製法と技術で
フィルムの可能性を追求



クリロン化成株式会社

クリロン化成は、食品を中心に、医療品、工業製品などの包装用フィルムを製造しているメーカーです。1960年、大阪で創業。現在全国に3か所の工場と7か所の営業拠点で事業を展開しています。北海道工場は1994年、小樽に開設されました。北海道事業所内には、北海道営業所と、原反と呼ばれるフィルムを製造する工場、その原反を用いた袋の製造、梱包などを行う子会社の子会社がお製袋が併設されています。

触れば分かる
見れば分かる

多くのフィルムメーカーでは、出来上がったフィルムシートを接着剤で貼り合わせて多層にするラミネート工法を用いていますが、クリロン化成では、「多層共押し法・インフレーション法・水冷法」の3つの製法技術を組み合わせ、独自の「高機能複合フィルム」を製造しているのが特徴です。複数の原料樹脂を、特殊構造の金型の中で積層して、多層フィルムに仕上げます。こうして造られたフィルムは、柔軟性に優れ、しなやかな

風合いを保ち、包装する商品をつぶすことがありません。

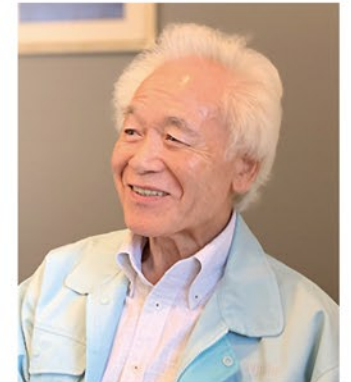
また、筒状のフィルムに成形する際、空気ではなく水で急冷することにより、透明感と光沢が格段に向上し、内面が外気に触れないので衛生かつ安心・安全です。この優れた特長を兼ね備えたフィルムは、内容物本来の色や形を損なわずに美しく、美しく、しっかりと包む事ができ、各メーカーが使用しています。大手乳業メーカーのチーズなど、クリロン化成のフィルムが使われている商品はたくさんあります。手にとって比べると、他社製品との違いがはっきりと判るそうです。私達は日頃、買い物で知らない間に「クリロンフィルム」を手にかけています。

ユーザーのあらゆるニーズに応えることをポリシーに、製造に関わる機械設備や原料にまで知識を拡げ、技術を磨いています。

機械設備を自社で設計・開発している樹脂加工メーカーはめずらしく、また、独自にフィルム化している特殊な樹脂もあり、原料樹脂の配合から各層の厚みまで自由な商品設計ができることが大きな特徴の一つです。

知恵と工夫から
価値を創生

北海道工場は25年前、小樽で3人の社員と2台の製造機械でスタートしました。現在は、子会社を含めて約125名の社員がおり、全国の3工場の中でも小樽は主要拠点として位置付けられるまでに成長しています。「今後も自社の製品づくりや開発を通して、小樽のモノづくりや企業として発展していきたい」と秋場所長。社員が力を合わせ知恵と工夫から価値を生み出していく企業として、モノづくりの道を歩んでいます。



秋場所長

社員が成長を
目指せる環境づくり

社員が安心して長く働くことができ、スキルアップと高い成果を生み出せる環境など「社員と会社」双方にとってプラスとなる仕組みを創業当時から作っています。例えば、「チャレンジ昇格」という制度があり、昇格にチャレンジする社員は、職責や職務能力でチャレンジ目標を定めた自己研鑽書を作成し、チャレンジ期間終了後に、その目標達成の審査を経て昇格が決まります。

また、生産・設備・物流・開発・情報・接客等の社内技能資格制度がある他、研修支援制度、勤務支援制度なども設けています。取材の際には「おもてなし技能」の資格を持つ女性社員に明るい笑顔と細やかな気配りで対応していただきました。

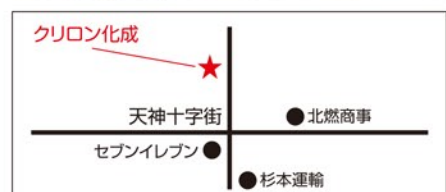
臭わない袋「BOS」

新たな複合フィルムの可能性を探るため、日々、製品開発に取り組んでおり、近年の人気商品は、内容物の臭いを漏らさない「驚異の防臭袋BOS（ボス）」です。医療向け汚物収容袋の開発をきっかけに誕生しました。高い防臭力を備え、その効果が持続することから、すぐに廃棄できない時も菌を漏らさないのが衛生的です。使用済み紙オムツ・非常用トイレ・ペットのトイレ処理など、医療・介護現場に限らず様々な場面で、臭いによる衛生問題を解決しました。

赤ちゃん用品店やネット販売では「驚くほど臭わない」「もう手放せない」などの口コミが多数寄せられており、災害時には、非常用トイレとして、その防臭効果が高い評価を受けました。更に、展示会などで営業努力を重ねた結果、大ヒット商品となりました。「画期的な特許商品であり、他社には真似できない技術です。是非、試してその効果を実感してみてください」と、事業全般を統括する秋場所長は話してくださいました。



きょうびじん「強美人」
-40℃冷凍から100℃ 30分ボイルも可能な高透明ナイロンポリ規格袋



小樽市天神 1-15-1
TEL 0134-29-0461 FAX 0134-29-0470